FC8600 SERIES

CUTTING PLOTTER

セットアップマニュアル

MANUAL NO.FC8600-UM-8M1

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本説明書は、本製品を正しく安全にご使用いただくため、機能を十分に理解し、より効果的にご利用いただけるよう、ご使用の前にいつでも使用できるように大切に保管してください。

作業の前に
付属の「安全に正しくお使いのために」を必ずお読みください。読まずに作業をすると、思わぬ事故を起こしたり火災の原因となることがあります。

本書に関する注意
(1)本書の内容の一部、または全部を複写・転写することを禁止します。
(2)本書の内容および製品の仕様は、将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書および製品につきましては万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤り等にお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
(4)本書および製品を運用した結果の影響につきましては、(3)の項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

登録商標について
記載された会社名・ロゴ・製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

著作権について
本取扱説明書は、グラフテック株式会社が全ての著作権を保有しています。

各マニュアルの役割

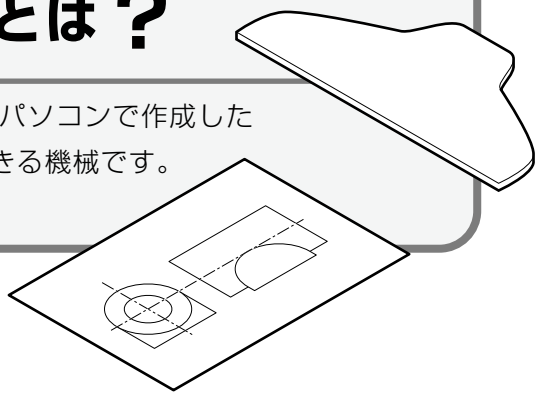
●セットアップマニュアル(本書)...カッティングプロッタとは？ FC8600「取扱説明書」の表示方法、本機とパソコンの接続方法、コントローラドライバソフトのインストール方法、作業の準備のためにお読みください。
●取扱説明書(PDFデータ).....FC8600機能をより理解するためにお読みください。
●Cutting Plotter コントローラ 取扱説明書(PDFデータ)
.....お使いのパソコンからFC8600を操作するためのソフトウェア「Cutting Plotter コントローラ」を使用するためにお読みください。

※P.000 は取扱説明書の参照ページを表記しています。

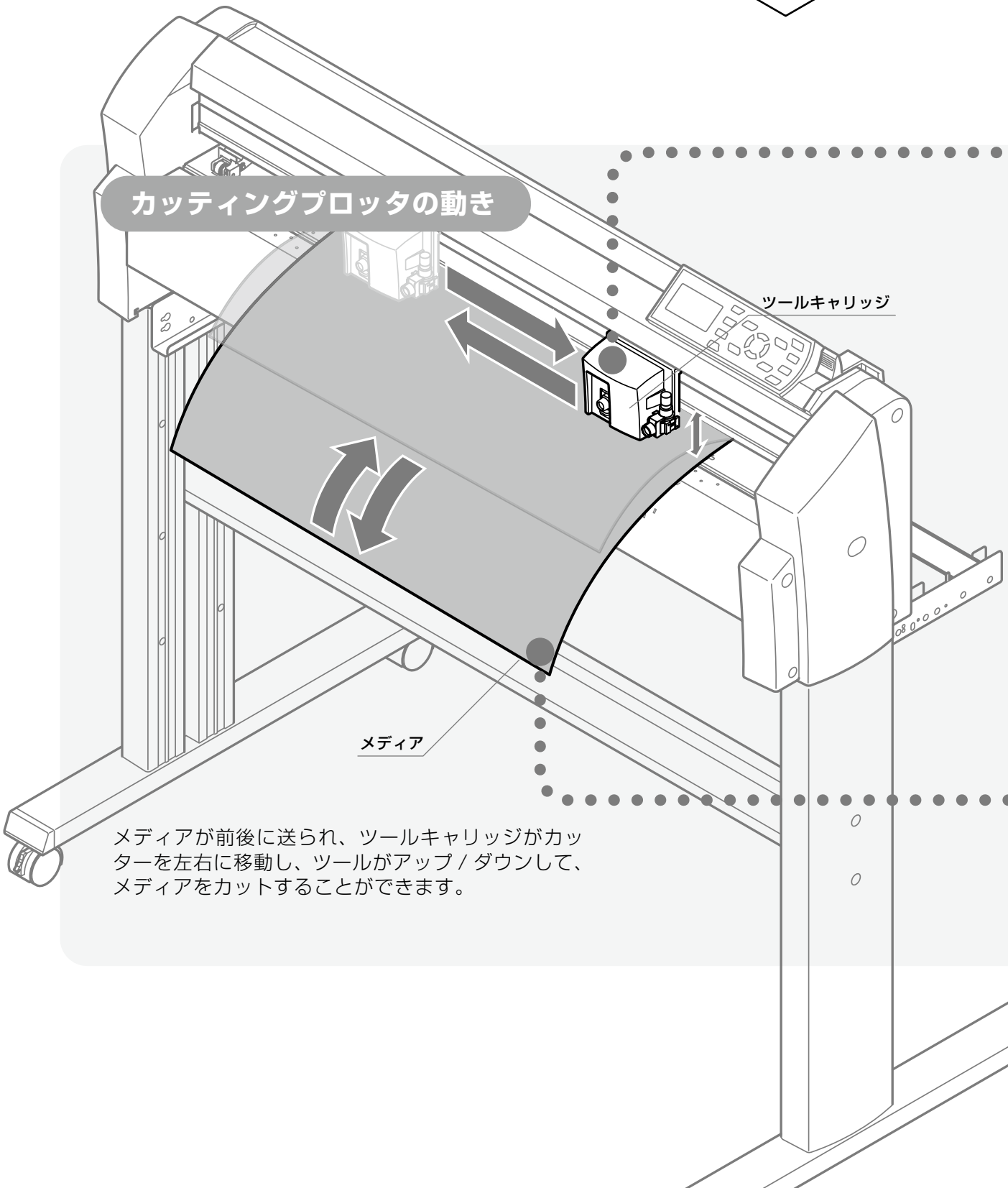
GRAPHTEC

カッティングプロッタとは？

カッティングプロッタとは、カッターナイフやハサミを使わずに、パソコンで作成した図形をメディア（紙、マーキングフィルムなど）から切ることができる機械です。



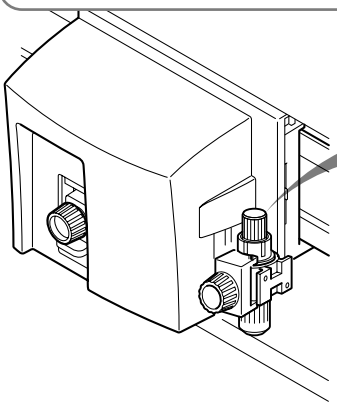
カッティングプロッタの動き



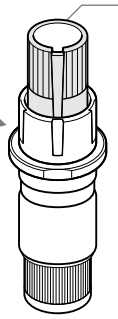
メディアが前後に送られ、ツールキャリッジがカッターを左右に移動し、ツールがアップ / ダウンして、メディアをカットすることができます。

ツールキャリッジ

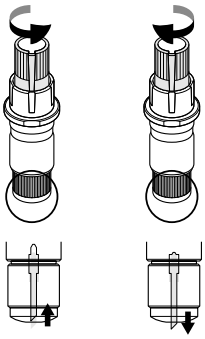
※カッター刃の取り扱いには、手などを切らないように充分にご注意ください。



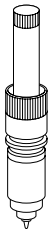
ツールキャリッジには、カッタープランジャを取り付けて使用します。カッタープランジャにはカッター刃をセットします。



刃先長さ調整つまみを回すことで、刃出し量を調整します。

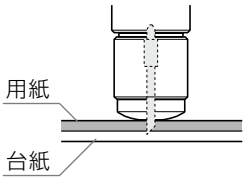


カッタープランジャ



筆記ペン
（水性ファイバーペン）

カッターの代わりに筆記ペンを使うと、図面やイラストなどの出力ができます。カット前のテストとして使用します。

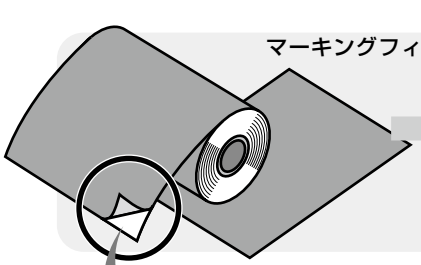


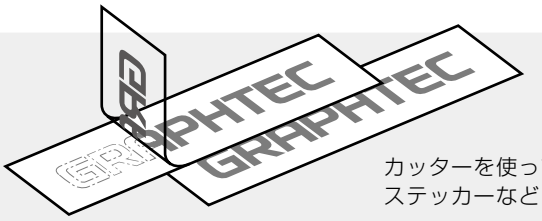
台紙に切り跡がつく程度の刃出し量に調整します。

メディア

メディアには、フィルムや紙などがあります。目的に合わせて使用してください。

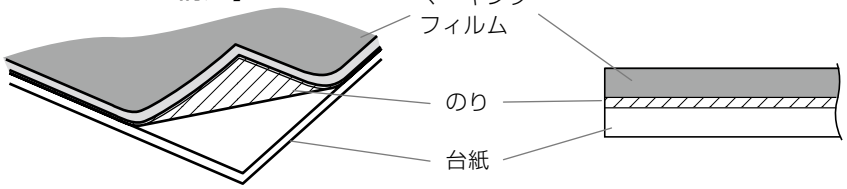
マーキングフィルム



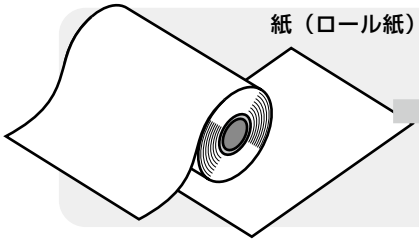


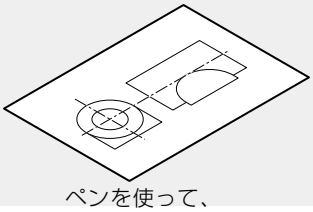
カッターを使って、ステッカーなど

【マーキングフィルムの構造】



紙（ロール紙）



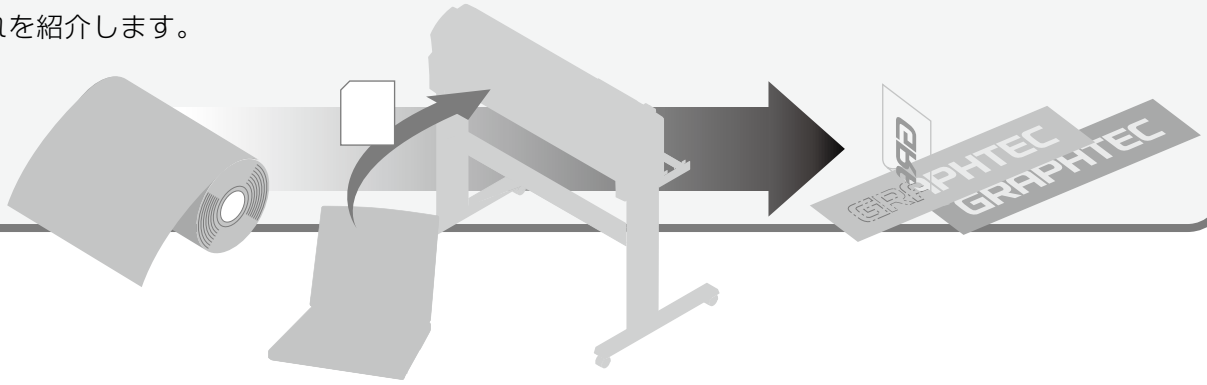


ペンを使って、図面やイラストなど

ミシン目に切り抜いて、型紙など

カッティング作業のながれ

カッティングプロッタとマーキングフィルムを使って、ステッカーを作る工程を例に、カッティング操作の流れを紹介します。



❶ カットするデータを作成します。

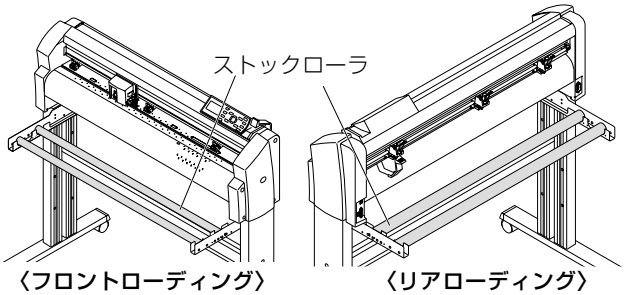
❶データを準備する　❷メディアをセットする　❸条件を設定する

❷ カッティングプロッタにメディアをセットします。

❶ カッティングプロッタのどこに用紙をセットするか確認します。

P.1-5

ストックローラが本体の前に取り付けられている：フロントローディング
ストックローラが本体の後ろに取り付けられている：リアローディング

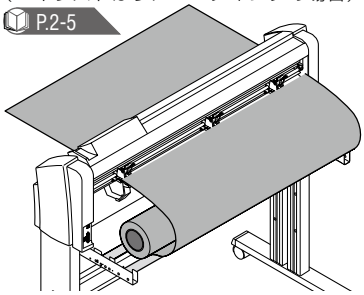


〈フロントローディング〉　〈リアローディング〉

❷ メディアをストックトレイに置き、メディアをセットします。

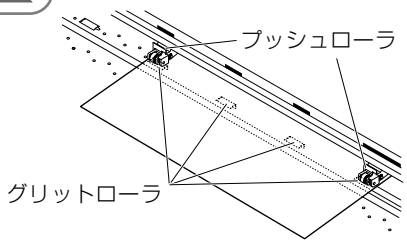
（※イラストはリアローディングの場合）

P.2-5



プッシュローラのセット P.2-12

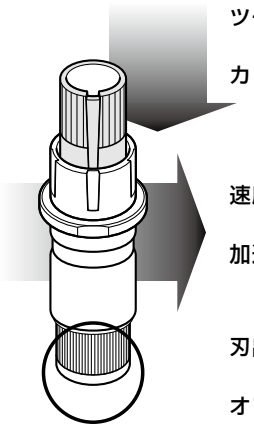
プッシュローラをメディアの両端かつグリットローラの上に位置するように固定します。



3 メディアをカットするために、必要なさまざまな設定を行います。

●使用するメディアなどにあわせて、ツール条件を設定します

※各種条件を設定したものを記憶させることができます。



ツール設定：
使用するツールのタイプを設定します

カット圧設定：
ツールをメディアに押し付ける力を調整します

速度：
ツールの移動速度を調整します

加速度：
ツールの加速度を調整します

刃出し調整：
カッタープランジャから、刃が出ている量を調整します

オフセット：
カッター刃の刃先とプランジャの中心との間を調整します

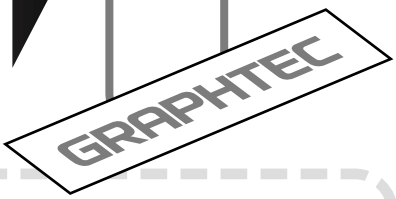
テストカット P.2-33

各種設定を行った後にテストカットを行い、実際の切れ具合を確認しましょう。

オフセットが小さい　適 正　オフセットが大きい

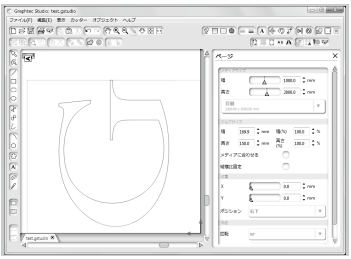
4 メディアをカットする

完成



4 作成したデータをカッティングプロッタに出力し、メディアをカットします。

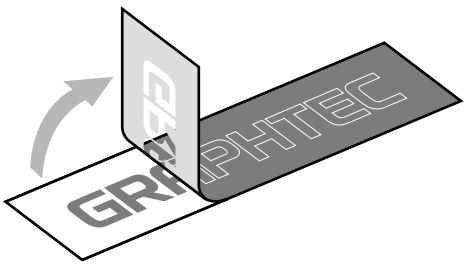
❶ カッティングプロッタに出力します

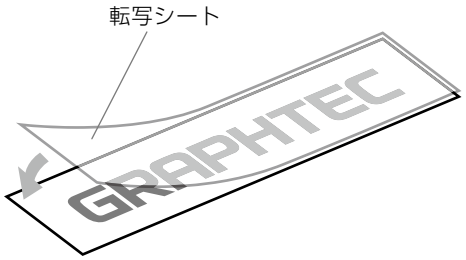


途中で停止するには
作図中に [STOP] キーを押すと、作図を一時停止します。 P.3-12

❷ カットしたメディアを切り離します（クロスカット）

❸ カットしたメディアの不要な部分を取り除き、転写シートを貼ります



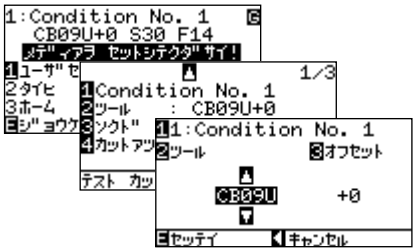


便利な機能

ツール条件設定

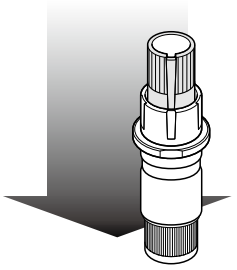
ツール条件の設定 P.2-25

ツール設定は、設定 1 ～ 8 の 8 つの設定を記憶することができます。ツール条件を設定する場合、まずこの条件 No. を選択します。また、この条件 No. を切り替えることにより、あらかじめ設定した 8 種類のツール条件ですぐに作図ができます。



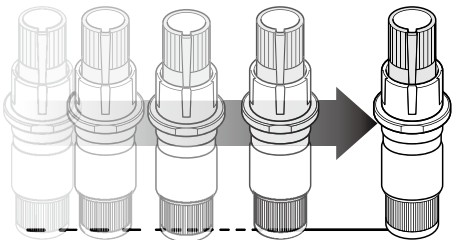
カット圧の設定 P.2-28

カット圧の設定は、カットするときのカット圧、または作図するときの筆圧の設定です。メディア別、ツール種別のツール条件を目安に設定してください。



速度の設定 P.2-27

作図するときのツールのスピードの設定（移動速度）です。



加速度の設定 P.2-29

加速度の設定は、作図するときの加速度の設定です。

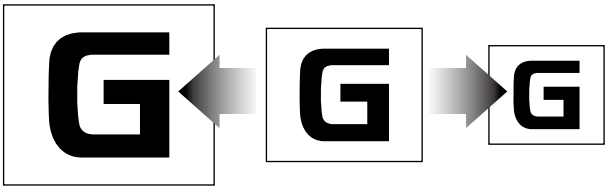
オフセットの設定 P.2-25

使用するカッター刃の種類によって刃先とプランジャの中心点のズレを補正します。刃の名称を選択する事により、あらかじめ標準値が設定されています。また、その標準値に対して ± 5 の範囲で微調整が行えます。

エリアオプション

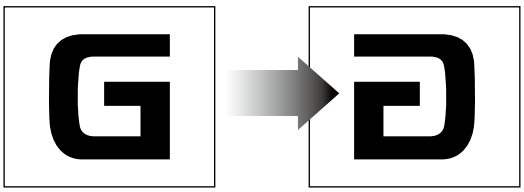
拡大・縮小 P.4-8

作図の拡大縮小を設定します。



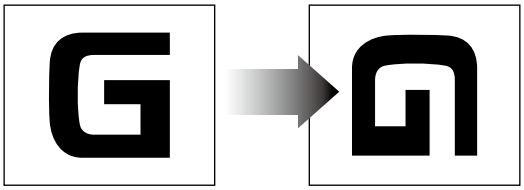
裏書 P.4-6

作図原点と座標軸の反転を設定します。



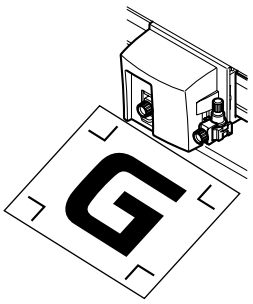
回転 P.3-10

作図原点と座標軸の回転を設定します。



ARMS P.5-2

メディアに描かれたトンボをセンサで読み取る機能です。軸の傾きと距離と 2 軸歪み補正も行え、プリンタで印刷された図形の輪郭のカットや、メディアを再カットする際に、高精度なカッティングができます。



作図範囲 P.4-2	作図範囲を任意に設定します。原点も作図範囲に合わせて移動します。設定された範囲外には作図できません。
作図範囲幅の拡張 P.4-4	初期値(プッシュローラの内側のエッジ)を基準に作図範囲の増減を設定します。
ミシン目パターンの設定 P.7-15	実線でカットするか破線（ミシン目）でカットするかを設定します。
手動位置合わせ補正 P.6-3	手動でメディアとツールの位置を合わせ、トンボ（合わせマーク）の位置を指示して、軸の傾きや距離を補正します。ARMS でトンボを読み取れない場合に、他のプロッタで作図された図形の輪郭のカットや、メディアの再カットの精度を向上できます。

環境設定

デュアルコンフィギュレーション P.4-18	2 種類の設定内容を独立して保存できます。操作者が二人いる場合に個々の設定を別々に保存したり、メディアに合わせた設定を 2 種類保存しておきメディア交換のときに条件設定をすばやく切り替えたい場合に、この機能を使用します。
アパレル（AP）モード P.4-20	アパレル向けの CAD と組み合わせて本機を使用する場合に使う機能です。

作図品質設定

距離補正 P.7-13	使用するメディアの種類や厚さによる作図の線分の長さのズレを補正します。
タンジェントコントロール P.7-2	厚いメディアをカットするときに設定します。刃がメディアに埋まってしまって刃の回転がうまくいかず、始点と終点が一致しない、コーナがシャープにでないような場合に、この機能を使用します。

セットアップを始める前に

セットアップを始める前に、つぎの準備をしてください。

◇ 同梱品がそろっていることをご確認ください。(FC8600 取扱説明書（PDF) P.1-2 をご覧ください。)
各部の名称は、FC8600 取扱説明書（PDF) P.1-3 をご覧ください。
◇ FC8600 を組立て、設置してください。組立の手順は架台同梱の説明書、または FC8600 取扱説明書(PDF) P.1-5 をご覧ください。
◇ Cutting Master 3 の旧バージョンがインストールされている場合は、アンインストールしてください。
◇ Cutting Master 3 を使用する場合は、お使いになるデザインアプリケーション（Adobe Illustrator または CorelDRAW）を、予めインストールしてください。最新の対応バージョンについては、弊社ホームページを参照してください。
◇ ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合は、あらかじめ終了しておいてください。
◇ インストールを行う場合は、コンピュータの管理者の権限を持つ管理者アカウントのメンバーとして、Windows にログオンしてください。

注意

ソフトウェアの使用について
Cutting Plotter コントローラ／ Graphtec Studio ／ Cutting Master 3 の各ソフトウェアでは、プロッターの各種設定に関する制御を行っています。
これらのソフトウェアを同一のコンピューターにインストールする事は可能ですが、同時に使用しないでください。

セットアップのながれ

ソフトウェアのインストール

1. スタートメニューの起動	FC8600 の各種ソフトウェアは、付属の DVD-ROM に収納されているインストーラを使ってインストールします。	P.9

FC8600 セットアップ

2. Cutting Plotter コントローラのインストール	Cutting Plotter コントローラをインストールすると、FC8600 の主な機能をパソコンから操作できます。	P.11
3. FC8600 Plotter Driver（Cutting Plotter Driver）のインストール	FC8600 ドライバソフトは、パソコンで作成したデータに従ってプロッタを制御し、作図を行うドライバソフトです。	P.12

インタフェースによって手順が異なります。

選択		
USB で接続する場合	インストールの途中でプロッタの電源を入れ、USB ケーブルを接続する必要があります。	P.12
ネットワークケーブルで接続する場合	FC8600 の IP アドレスを入力する必要があります。	P.13
RS-232C で接続する場合	RS-232C ケーブルは、インストールの終了後に接続します。	P.14

必要に応じてソフトをインストールします。

4. Graphtec Studio のセットアップ	簡単な操作でカットデータを作成することができるソフトウェアです。デザインの作成や文字 / 図形の編集が行えます。	P.15
5. Cutting Master 3 のセットアップ	Adobe Illustrator、CorelDRAW から直接操作を行い、簡単にカットすることができるプラグインドライバです。	P.15
6. 取扱説明書のセットアップ	FC8600 の取扱説明書をインストールします。	P.16

プロッタ本体のセットアップ

1. メディア（用紙）のセット	メディアをプロッタに固定します。	P.17
2. プロッタの設定	メディアの種類に応じて、プロッタを設定します。	P.19
3. ツールの取り付け	カッター刃はメディアの素材や厚みに応じて交換できます。	P.20
4. ツール装着時の傾きについて	ツール装着時のツールの傾き修正について説明します。	P.21
5. ツールの調整とテストカット	メディアの素材や厚みなどに応じて、刃の先端を出す長さや、カットする圧力などを調整します。セットしたメディアをテストカットすることで、最適な状態に調整できます。	P.21

ソフトウェアのインストール

付属の DVD-ROM に収納されているソフトウェアをお使いになるパソコンにインストールします。
本書では、Windows 7（32bit）環境にソフトウェアをインストールする場合を例に説明しています。

重要

● インストールを行う場合は、コンピュータの管理者の権限を持つ管理者アカウントのメンバーとして、Windows にログオンしてください。
標準ユーザーアカウントの場合は、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されて、管理者アカウントのパスワードが必要になる場合があります。

● **対応 OS について**
本ソフトウェアは、以下の OS 環境に対応しています。
Windows 8（32bit/64bit）、Windows 7（32bit/64bit）、Windows Vista（32bit/64bit）、Windows XP SP3（32bit/64bit）
Macintosh MacOS X 10.5.8 以上 ※1［Intel CPU（PPC は非サポート）］

● **※ 1：Macintosh での使用について**
Macintosh 環境では、以下のソフトウェアが対応しています。
ご使用の環境に合わせて、インストールを行ってください。
・ Graphtec Studio ： 簡単な操作でカットデータを作成することができるアプリケーションソフトウェアです。
・ Cutting Master 3 ： Adobe Illustrator から直接操作を行うことができるプラグインドライバです。
ご使用にあたっては、使用するパソコンに Adobe Illustrator のアプリケーションがインストールされている必要があります。
Macintosh 環境にソフトウェアをインストールする場合は、付属 DVD-ROM から上記の対応ソフトウェアマニュアルをご確認ください。
・付属 DVD-ROM より「Manuals」-「Japanese（各言語）」-「（各ソフトウェア別 マニュアル）」を開く。

1. スタートメニューの起動

Windows を起動して、付属の「USER GUIDE & SOFTWARE DVD」をパソコンにセットします。
「スタートメニュー」画面が起動するまでに、以下の画面が表示されます。次の手順でインストールを進めてください。

1 Windows の「自動再生」画面が表示されます。

Windows の「自動再生」画面から「MultiSetup.exe の実行」を選択します。

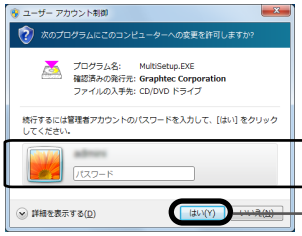
※ Windows の「自動再生」画面が表示されない場合は、エクスプローラーからセットした DVD ドライブを選択します。
次に DVD 内の「MultiSetup.exe」を選択し、ダブルクリックしてください。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます

管理者アカウントでログオンした場合は、「はい」をクリックします。

[はい] をクリック

標準ユーザーアカウントでログオンした場合は、管理者アカウントのパスワードを入力する画面が表示されます。
パスワードを入力して、「はい」をクリックします。

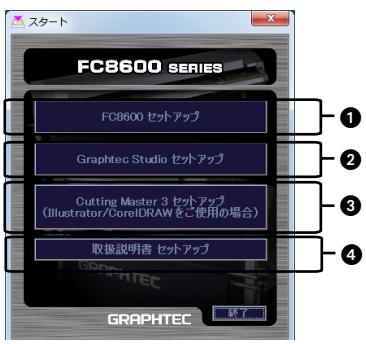


パスワードを入力

[はい] をクリック

3 「スタートメニュー」画面が表示されます

「スタートメニュー」画面では、FC8600 を使用するために必要な各種ソフトウェアをインストールします。
FC8600 を初めて使用する場合は、「FC8600 セットアップ」ボタンよりインストールを行ってください。
ご使用の環境に合わせて、インストールを行います。



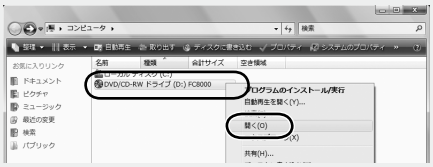
ソフトウェアの自動再生が設定されていない場合

Windows 7/Vista の場合：

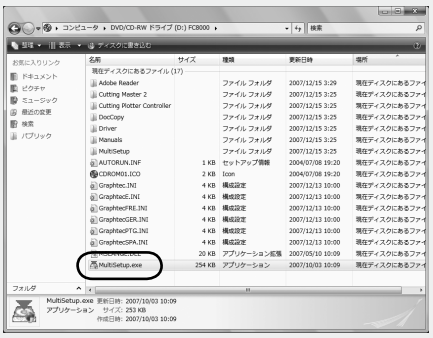
1.Windows の［自動再生］選択メニューから、[MultiSetup.exe 実行] を選びます。

［自動再生］選択メニューが表示されない場合：

1.コンピュータから DVD/CD-ROM ドライブを選択し、右クリックで [開く] を選択します。



2.[MultiSetup.exe] を選択し、ダブルクリックします。



※ Windows XP の場合も同様です。

❶ FC8600 セットアップ

「Cutting Plotter コントローラ」と「プロッタドライバ」をインストールします。「Cutting Plotter コントローラ」では、各種カット条件やプロッタ設定など、パソコンより直接コントロールすることができます。

❷ Graphtec Studio セットアップ

簡単な操作でカットデータを作成することができるソフトウェアです。デザインの作成や文字／図形の編集が行えます。

❸ Cutting Master 3 セットアップ

Adobe Illustrator、CorelDRAW から直接操作を行い、簡単にカットすることができるプラグインドライバです。

❹ 取扱説明書 セットアップ

FC8600 の取扱説明書をインストールします。

2. Cutting Plotter コントローラのインストール

1 インストーラの [スタート] 画面で、[FC8600 セットアップ] をクリックします。

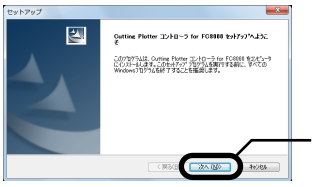
❶「FC8600 セットアップ」を選択

[FC8600 セットアップ] では、「Cutting Plotter コントローラ」と「FC8600 Plotter Driver」がインストールされます。

⚠注　意

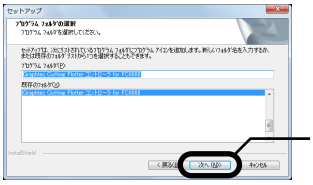
FC8600 Plotter Driver をインストールする前に、プロッタ（FC8600）とパソコンのインタフェースケーブルを**接続しない**でください。

2 表示された画面の指示に従って操作します。

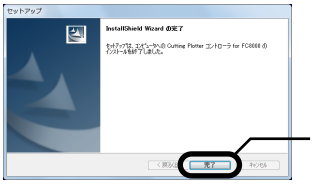


[次へ] をクリック
※ FC8600 ドライバソフトのみのインストールの場合は [キャンセル] します。

[次へ] をクリック



[次へ] をクリック



[完了] をクリック

対応するパソコン

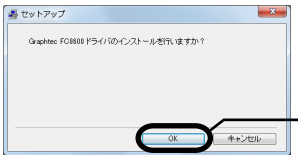
Cutting Plotter コントローラを使用するには、Windows8/7/Vista/XP のパソコンを使い、USB/LAN（ネットワーク）/RS-232C インタフェースで接続します。

Cutting Plotter コントローラは、プロッタの操作パネルと同等の操作をパソコンから行うソフトウェアです。お使いの Windows やインタフェースが上記と異なる場合は、操作パネルを使って操作してください。

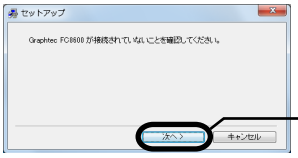
3. FC8600 Plotter Driver のインストール

Cutting Plotter コントローラのインストールが終了すると、
FC8600 Plotter Driver のインストール画面が表示されます。

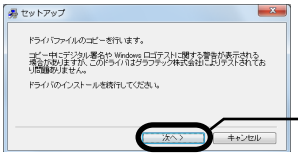
1 画面の指示に従って操作します。



［OK］をクリック



［次へ］をクリック



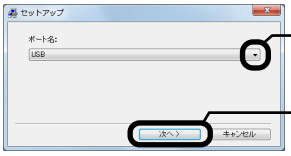
［次へ］をクリック

⚠注　意

FC8600 Plotter Driver をインストールする前に、プロッタ（FC8600）とパソコンのインタフェースケーブルを**接続しない**でください。

USB ケーブルで接続する場合

2 インタフェースを選択します。



❶ プルダウンリストから「USB」を選択

❷［次へ］をクリック

選択したインタフェースに応じて、手順が異なります。

ポート名

「ポート名」は、使用するインタフェースに応じて選択します。

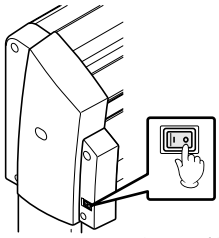
インタフェース	ポート名	次の手順
USB ケーブルで接続する	USB	P.12
ネットワークケーブルで接続する	TCP/IP	P.13
RS-232C ケーブルで接続する	COM1	P.14
プロッタと接続せず、作図用のデータをファイルに出力する	FILE	–

3 ドライバソフトをインストールする。

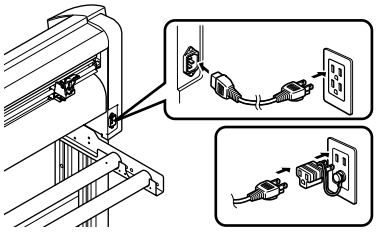
❷［インストール］をクリック

❶［チェックボックス］をクリック

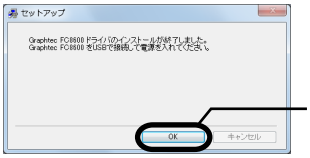
4 プロッタの電源ケーブルを接続します。



❶ プロッタの電源がオフ（“○”側）になっていることを確認する



❷ 電源ケーブルを接続する

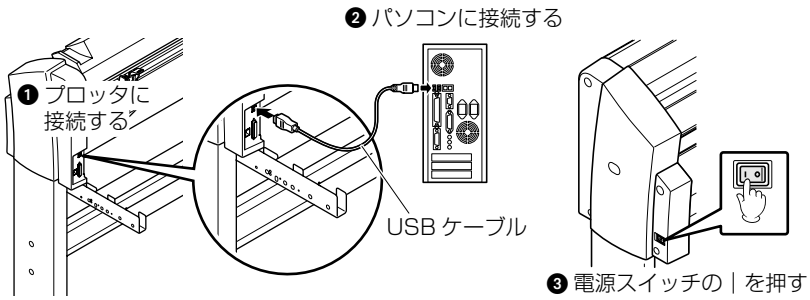


［OK］をクリック

⚠注　意

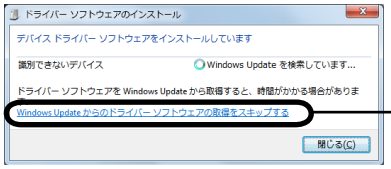
アース線は必ず取り付けてください。
アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。

5 プロッタとパソコンを USB ケーブルで接続し、プロッタの電源を入れます。

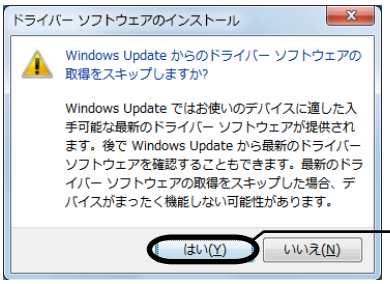


6 デバイスドライバがインストールされます。

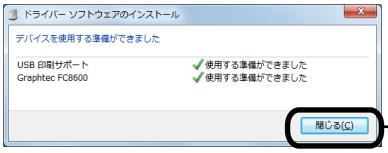
メッセージをクリック



[Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップする] をクリック



[はい] をクリック



[閉じる] をクリック

正常にインストールされた場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「デバイスとプリンター」内に「Graphtec FC8600」が表示されます。(Windows 7 の場合)

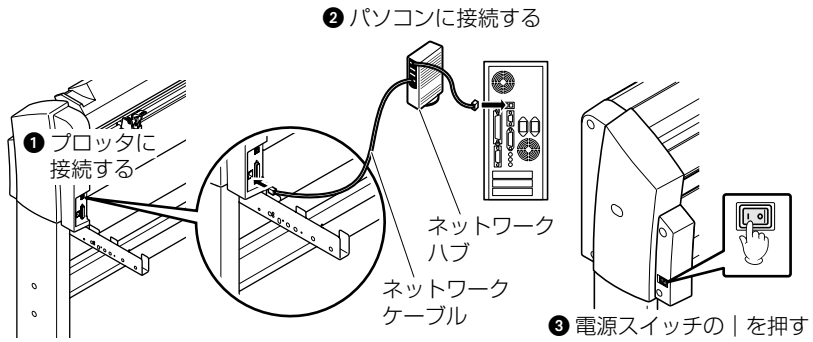
ネットワークケーブルで接続する場合

2 インタフェースを選択します。

❶ プルダウンリストから「Standard TCP/IP Port:(ネットワーク)」を選択

❷ [次へ] をクリック

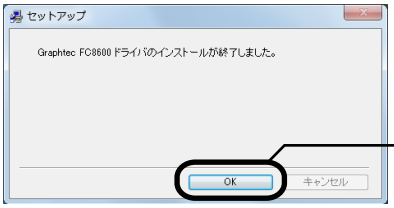
3 プロッタとパソコンをネットワークケーブルで接続し、
プロッタの電源を入れます。



4 プロッタの IP アドレスを確認します。

5 プロッタの IP アドレスを入力します。

画面の IP アドレスは例です。



IP アドレスがわからない場合

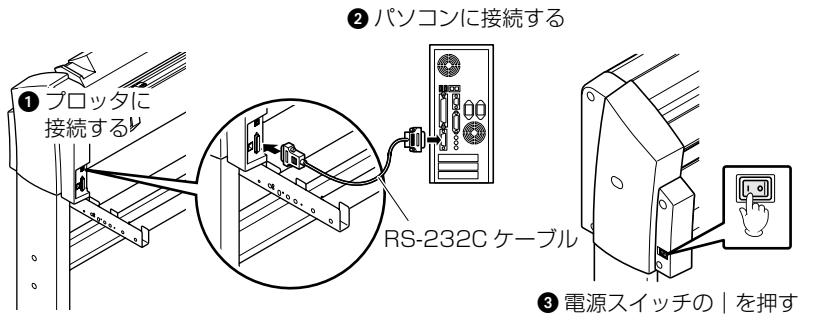
IP アドレスはネットワークの環境によって違います。ネットワーク管理者にご相談ください。本機の IP アドレスの調べ方については、FC8600 取扱説明書「インタフェースの設定」P.9-2 を参照してください。

正常にインストールされた場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「デバイスとプリンター」内に「Graphtec FC8600」が表示されます。(Windows 7 の場合)

RS-232C ケーブルで接続する場合

2 プロッタとパソコンを RS-232C ケーブルで接続し、
プロッタの電源を入れます。

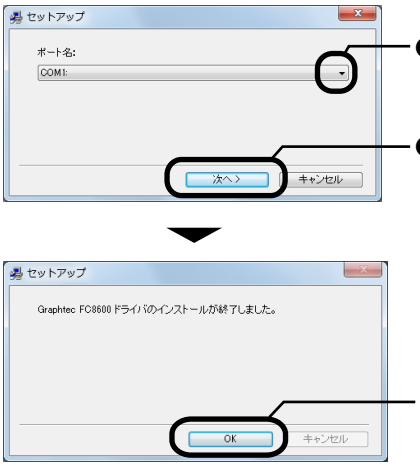


3 本機の RS-232C の設定を確認します。

パソコンのポート設定

RS-232C での接続ではパソコンと本機のポート設定を合わせる必要があります。パソコンのポート設定については、Windows のヘルプを参照してください。

4 インタフェースを選択します。



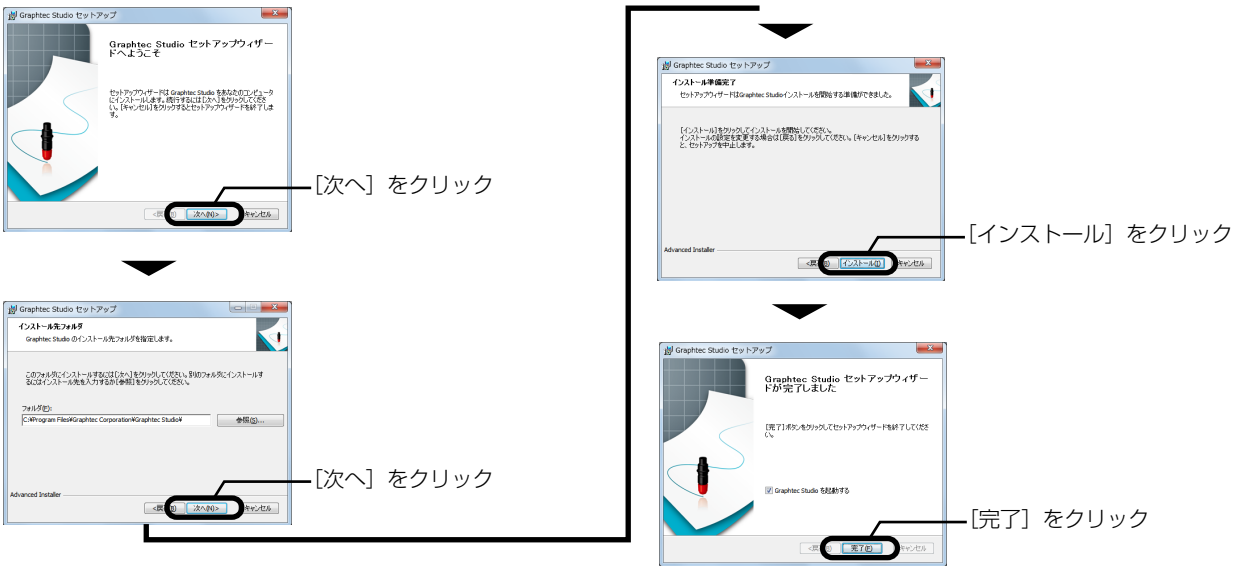
正常にインストールされた場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「デバイスとプリンター」内に「Graphtec FC8600」が表示されます。(Windows 7 の場合)

4. Graphtec Studio のインストール

1 インストーラの「スタート」画面で［Graphtec Studio セットアップ］をクリックします。

2 表示された画面の指示に従って操作します。



Machintosh の場合

付属 DVD-ROM 内の各言語フォルダに入っている説明書をお読みください。。

5. Cutting Master 3 のインストール

1 Illustrator もしくは CorelDRAW をお使いの場合、インストーラの「スタート」画面で［Cutting Master 3 セットアップ］をクリックします。

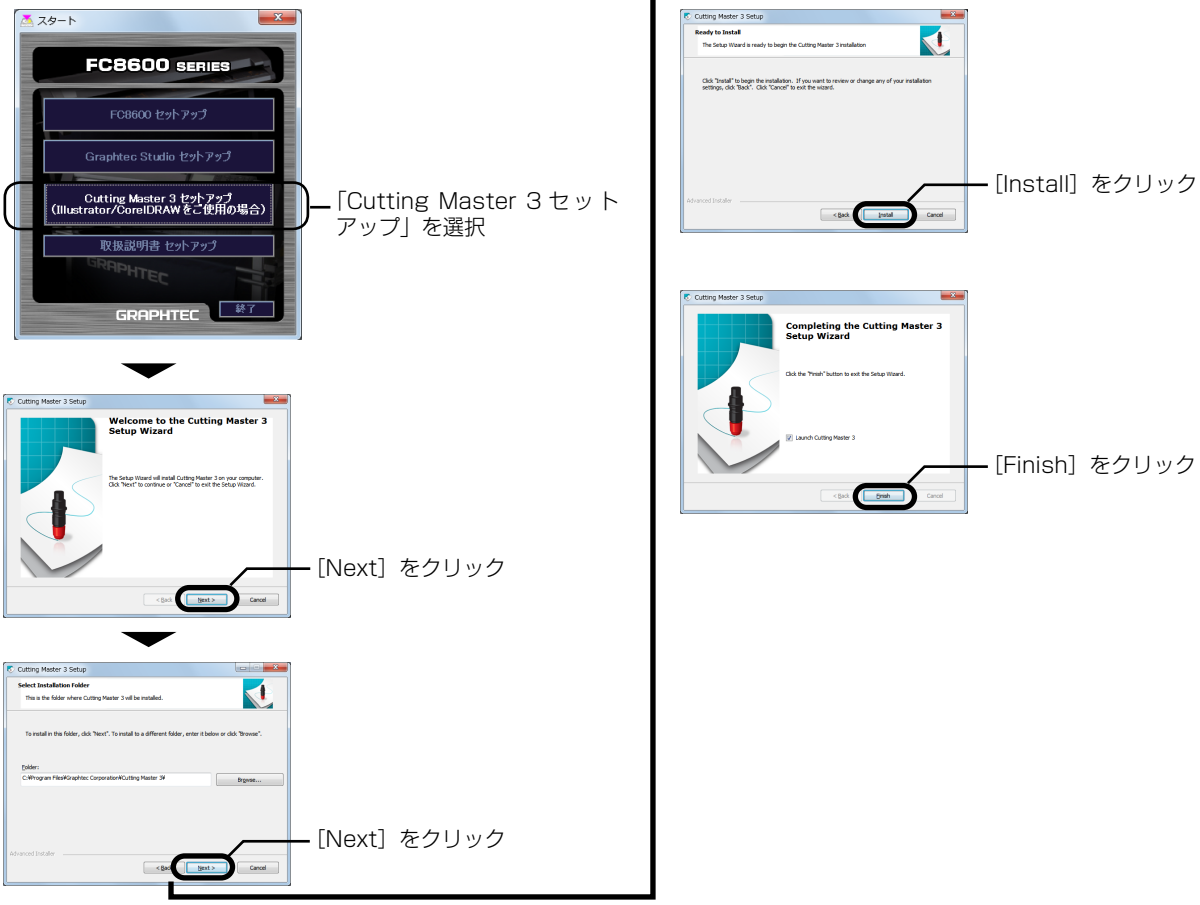
Machintosh の場合

付属 DVD-ROM 内の各言語フォルダに入っている説明書をお読みください。。

Illustrator もしくは CorelDRAW を使用しない場合

インストールする必要はありません。

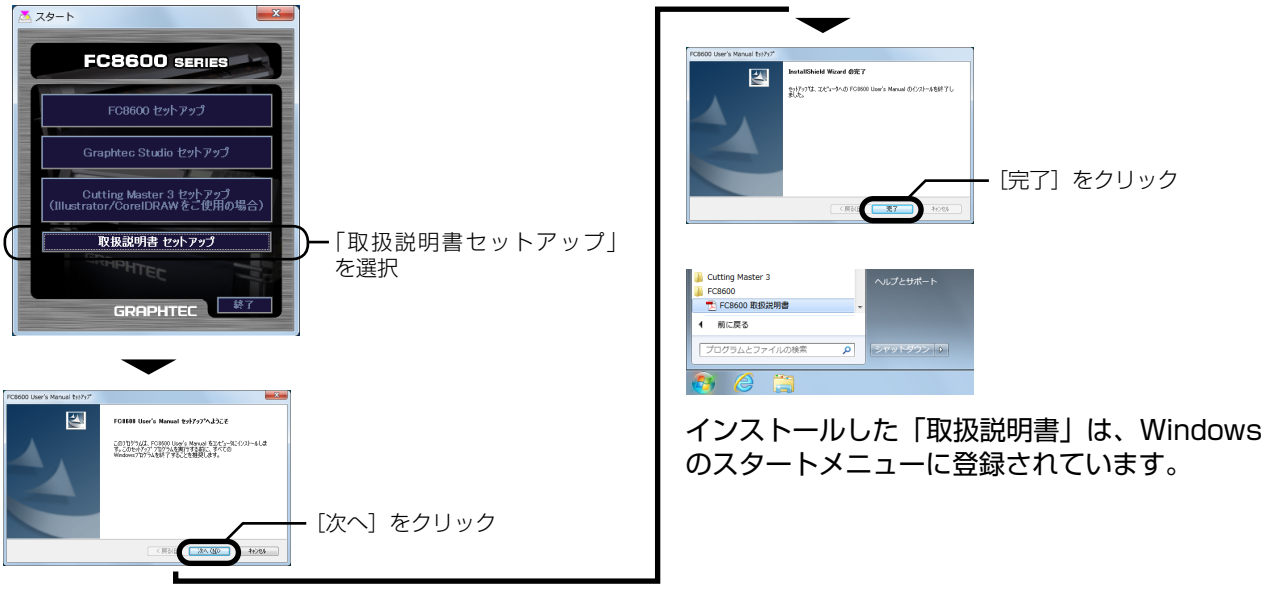
2 表示された画面の指示に従って操作します。



6. 取扱説明書のインストール

1 インストーラの「スタート」画面で
[取扱説明書セットアップ] をクリックします。

2 表示された画面の指示に従って操作します。



インストールした「取扱説明書」は、Windows のスタートメニューに登録されています。

プロッタ本体のセットアップ

1. メディア（用紙）のセット

FC8600 では、ロール紙とシート紙が使用できます。給紙方法には、リアローディング（後ろから給紙）とフロントローディング（手前から給紙）があります。プロッタの組立て方に応じて選択してください。

ロール紙を使用する場合

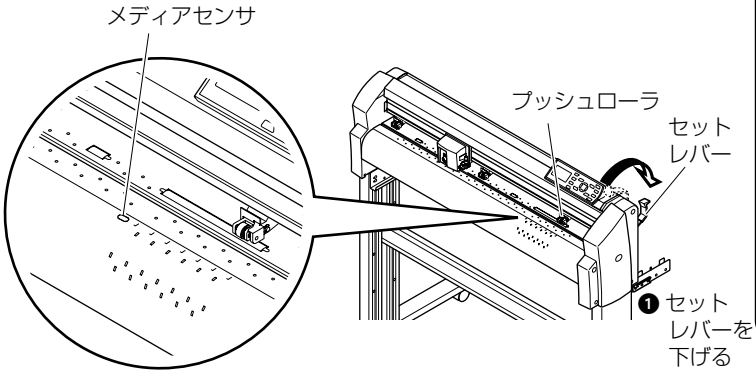
ここでは、リアローディングで使用する場合の操作方法を説明します。フロントローディングで使用する場合は、右コラムを参照してください。

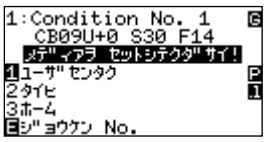
メディア

メディアの種類や幅、ローディング方法により、セット方法が異なります。
下表の条件により、次の手順のページを参照してください。

メディア種類	メディア幅	ローディング方法	次の手順
ロール紙	160 ～ 540mm	F/R	P.18
	540mm 以上	F/R	P.18
シート紙	100 ～ 160mm	F/R	P.19
	160mm 以上	F/R	P.19

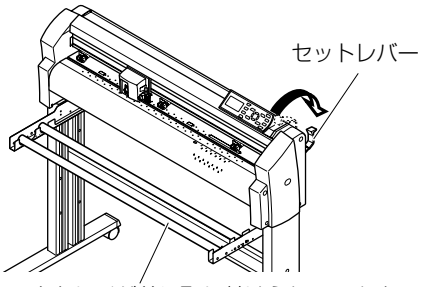
1 セットレバーを下げ、プッシュローラを上げます。





セットレバーを下げると、本体 LCD に「メディアヨ　セットシテクダサイ」と表示されます。

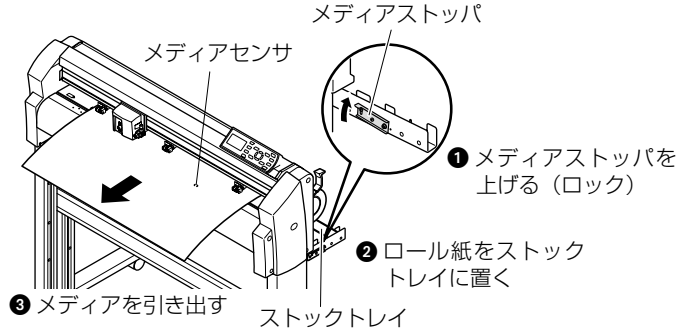
フロントローディングの場合



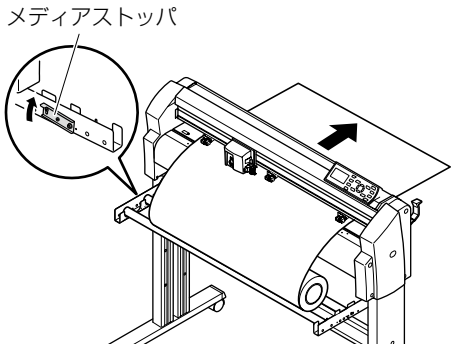
ストックトレイが前に取り付けられています。

2 メディアをプッシュローラの下に通します。

メディアストッパを上げ（❶）、ロール紙は引き出した部分が上になるように置き（❷）、メディアセンサの上を覆う程度（❸）に引き出してください。
※メディアは、必ずメディアセンサの上にかかるようにしてください。



フロントローディングの場合



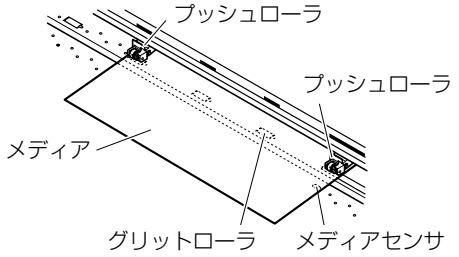
メディアストッパ

ロール紙をセットするときにストックローラの回転を止めるストッパです。ロール紙を真直ぐ引き出すときに使用します。

メディア幅 160 ～ 540mm の場合

3 2 個のプッシュローラの位置をセットします。

メディアセンサの上を通るようにメディアの両端を押さえ、プッシュローラがグリットローラの上にくるようにセットします（❶）。使用しないプッシュローラは待避位置に移動してください（❷）。

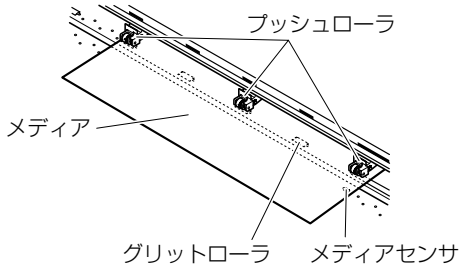


セット後、手順４へ

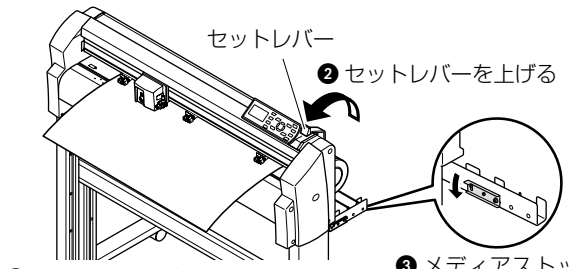
メディア幅 540mm 以上の場合

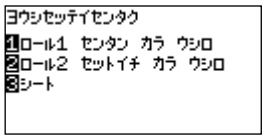
3 3 個のプッシュローラの位置をセットします。

メディアセンサの上を通るようにメディアの両端と中央を押さえ、プッシュローラがグリットローラの上にくるようにセットします（❶）。使用しないプッシュローラは待避位置に移動してください（❷）。



4 ロール紙のたるみをとり、プッシュローラで固定します。





メディア給紙方法選択画面が表示されます。

シート紙を使用する場合

1 セットレバーを下げ、プッシュローラを上げます。（「ロール紙を使用する場合」を参照してください。）

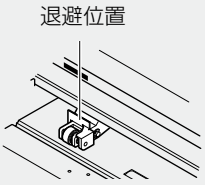
2 メディアをプッシュローラの下に通します。（「ロール紙を使用する場合」を参照してください。）

❶ プッシュローラの位置

プッシュローラの位置の調整については、FC8600 取扱説明書「プッシュローラを調整する」P.2-12 を参照してください。

❷ 待避位置

待避位置については、FC8600 取扱説明書「プッシュローラの待避」P.2-12 を参照してください。



❶ プッシュローラの位置

プッシュローラの位置の調整については、FC8600 取扱説明書「プッシュローラを調整する」P.2-12 を参照してください。

❷ 待避位置

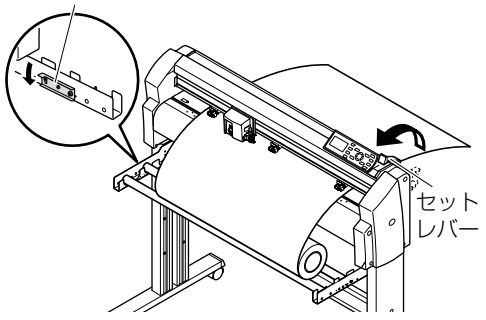
待避位置については、FC8600 取扱説明書「プッシュローラの待避」P.2-12 を参照してください。

プッシュローラの押し圧切り替え

３個以上のプッシュローラを使用してカットする場合に、中央をプッシュローラを切り替えてください。

FC8600 取扱説明書「押し圧切り替え」P.2-13 を参照してください。

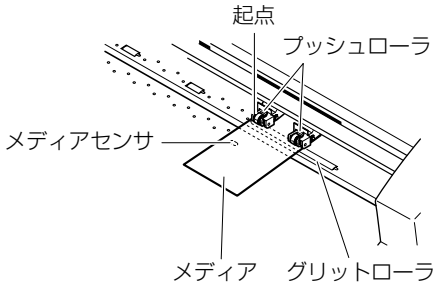
フロントローディングの場合



メディア幅 100 ～ 160mm の場合

3 2 個プッシュローラの位置をセットします。

メディアセンサの上を通るようにメディアの両端を押さえ、プッシュローラが右端の長いグリットローラの上にくるようにし、グリットローラの左端を起点としてプッシュローラをセットします（❶）。使用しないプッシュローラは待避位置に移動してください（❷）。



❶ 長いグリットローラの上にメディアとプッシュローラをセットする

❷ 使わないプッシュローラを待避させる

❶ プッシュローラの位置

プッシュローラの位置の調整については、FC8600 取扱説明書「プッシュローラを調整する」P.2-12 を参照してください。

❷ 待避位置

待避位置については、FC8600 取扱説明書「プッシュローラの待避」P.2-12 を参照してください。

メディア幅 161mm 以上の場合

「ロール紙を使用する場合」を参照してください。

4 ロール紙のたるみをとり、プッシュローラで固定します。（「ロール紙を使用する場合」を参照してください。）

2. メディアの種類をプロッタに設定する

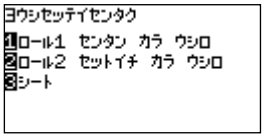
セットしたメディアに応じて、プロッタにメディアの種類を設定します。

1 セットしたメディアの種類を選択します。

操作パネルの［1］～［4］キーを押して選択します。

ロール紙	メディアの先端から作図する	[1]
	セットした位置から作図する	[2]
シート紙		[3]
同等のメディアを再セットした場合		[4]

メディアをセットすると、次の画面が表示されます。



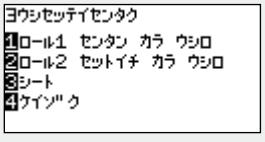
メディア給紙方法選択画面が表示されます。

ローディング方法の変更

初期設定ではリアローディングに設定されています。フロントローディングで設置した場合は、ローディング方法を変更してください。ローディング方法の変更については、FC8600 取扱説明書「給紙方法を設定する」P.2-19 を参照してください。

「ケイゾク」表示

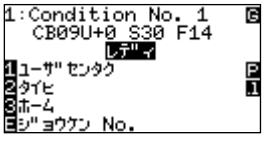
プロッタの状態によって 4 番目の選択肢「ケイゾク」が表示されることがあります。



「ケイゾク」は同等のメディアを再セットし、同じ設定のまま続けて作図を行うときに選択します。メディアをセットした後、セットレバーを上げ下げした場合に表示されます。

2 プロッタがメディアのサイズを検出し、設定が完了するのを待ちます。

完了すると次の画面が表示されます。



「レディ」と表示されます。
この画面を「レディ状態」といいます。

レディ状態

プロッタがパソコンからのデータを受信可能な状態になると、本体 LCD に「レディ」が表示されます。

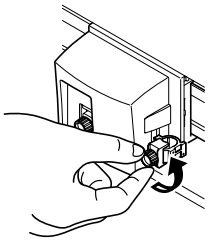
基本画面

本体の電源を入れた後、バージョン表示後の画面を「基本画面」といいます。

3. ツールの取り付け

本機にツール(カッタープランジャ·筆記ペン)を取り付けます。ここではカッタープランジャを例に説明します。

1 ツールホルダのネジを緩めます。

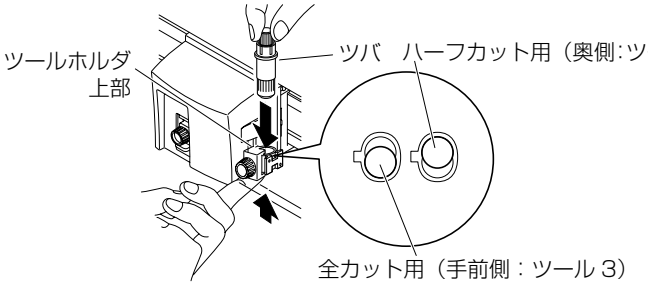


⚠注　意

電源投入時や動作中は危険ですので、ツール先には触れないようにしてください。

2 ツールホルダにツールを取り付けます。

ツールホルダを上に押し上げながらツールのツバの部分がツールホルダの上面に突き当るまで完全に押し込みます。



⚠注　意

ツールホルダを押し上げるときに、カッター刃で指をケガをしないよう十分にご注意ください。

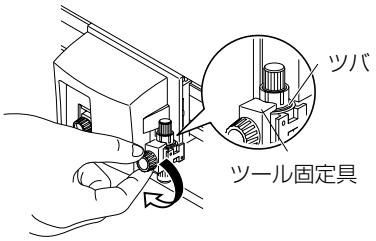
ハーフカット、全カット

ツールホルダにツールを差し込む位置により、カット動作が変わります。手前側は全カットする時に、奥側はハーフカットする時に主に使います。

全カットとハーフカットについては、FC8600 取扱説明書「ツールを取り付ける」P.2-4 を参照してください。

3 ツールを固定します。

ツールのツバの部分を覆うようにツール固定具をセットし、ネジを締めてください。



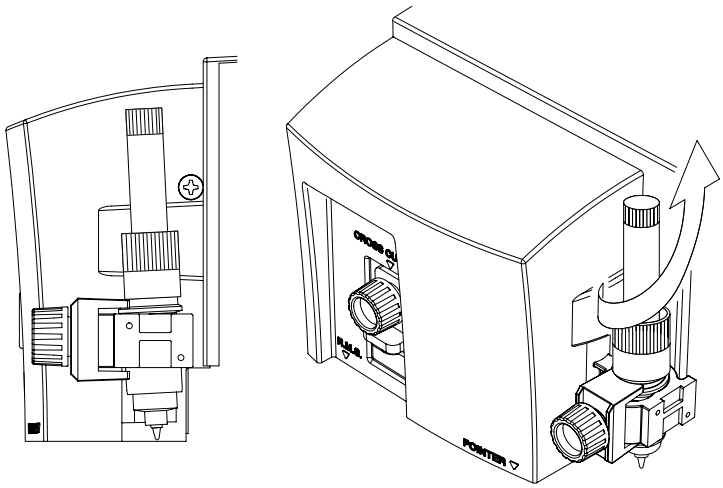
⚠注　意

固定する際にネジを締めすぎないでください。また、ネジを緩めて外れた場合は、再度取り付けてください。

パウンシングペン（オプション）は、必ずツール 1 に取り付けてください。

4. ツール装着時の傾きについて

ツールが傾いて装着されることがあります。そのまま使用すると、他のツールと交換したときにカット（作図）ずれの原因となります。そのときは下図を参照のうえ、傾きを修正してください。



❶ ツールをいったんゆるめてから、軽く締めてください。

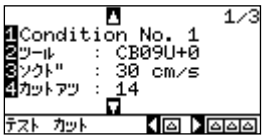
❷ ペンを図のように引き上げるようにしながら 1/4 回転ほど回すとペンがまっすぐになります。

❸ まっすぐになったら通常通りネジを締めてください。

5. ツールの調整とテストカット

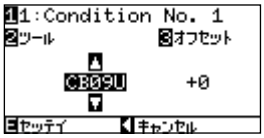
ツール・速度・カット圧・加速度を設定後、テストカットを行い、最適になるまで繰り返します。

❶ 基本画面で [CONDITION] キーを押します。



コンディション画面（1/3）が表示されます。

❷ ツール条件（ツール、速度、カット圧、加速度）設定をします。



例）ツール設定の画面です。

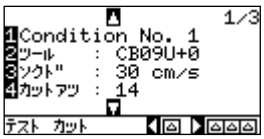
［ENTER］を押します。

⚠注　意

電源投入時や動作中は危険ですので、ツール先には触れないようにしてください。

設定値で 1 個テストカットする場合

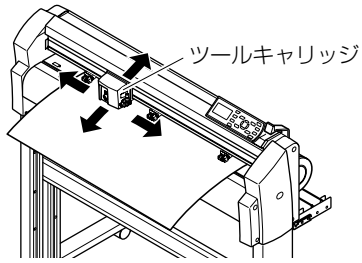
3 ツール条件を設定した状態で 1 個テストカットをします。



コンディション画面（1/3）が表示されます。

❶ POSITION（◀）キーを押します。

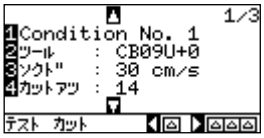
❷ POSITION（▲▼◀▶）キーを押し、テストカットを行う位置にツールキャリッジを移動させます。



[ENTER] キーを押します。

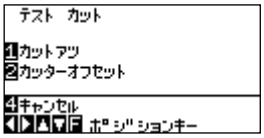
設定値と設定値± 1 で 3 個テストカットする場合

3 ツール条件を設定した状態で 3 個テストカットをします。



コンディション画面（1/3）が表示されます。

❶ POSITION（▶）キーを押します。



テストカットメニュー画面が表示されます。

❷ POSITION（▲▼◀▶）キーを押し、テストカットを行う位置にツールキャリッジを移動させます。（設定値 1 個テストカットする場合参照）

❸ [1] キー（カットアツ）を押します。
現在のカット圧を中心に、カット圧を 1 ずつ増減したものを加えた、3 個のテストカットパターンがカットされます。

❹ 終了後、[ENTER] キーを押します。
テストカットメニュー画面に戻ります。

❺ [2] キー（カッターオフセット）を押します。
現在のオフセット値を中心に、オフセット値を 1 ずつ増減したものを加えた、3 個のテストカットパターンがカットされます。

❻ [ENTER] キーを押します。

4 テストカットされたものが適正か確認します。

ハーフカットの目安

三角の部分を剥がして、台紙に薄くカットした跡が残っている位が丁度いいカット圧になります。台紙が完全に切れている場合は、カット圧が高すぎるか、刃を出しすぎています。台紙にカットした跡が所々付いていない場合は、カット圧が低すぎるか、刃出し量が少なすぎます。

全カットの目安

台紙が完全に切れているのが丁度いいカット圧になります。台紙が完全に切れていない場合は、カット圧が低すぎるか、刃出し量が少なすぎます。

筆記ペンの目安

作図にカスレが出ない程度にスピードを設定します。ペンの寿命を長くするため筆圧はできるだけ弱く設定します。

オフセットのチェック方法

オフセット量が正しく設定できているかどうかを、以下を参考にチェックしてください。

補正量が不足しています。オフセット値を上げてください。

適正なオフセット値です。

補正しすぎです。オフセット値を下げてください。

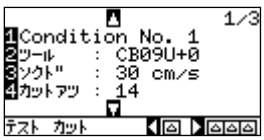
5 良好なカットができるまで設定とテストカットを繰り返します。

刃出し調整機能

最適な刃出し量を設定するには、何回かテストカットが必要ですが、この機能により、簡単に刃出し量を調節できます。

1 以下の手順でパネルを操作します。

基本画面で [CONDITION] キーを押します。



コンディション画面（1/3）が表示されます。

▼

POSITION（▲）キーを押します。

▼

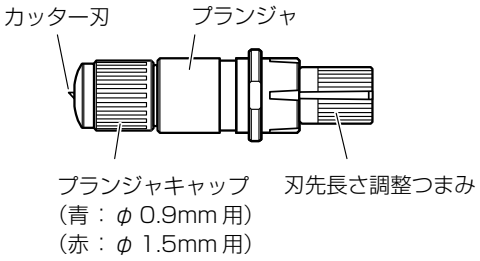
[4] キー（ハダシ　チョウセイ）を押します。

⚠注　意

電源投入時や動作中は危険ですので、ツール先には触れないようにしてください。

カッタープランジャは、ツール 1 にセットしてください。

2 カッタープランジャの刃先長さ調整つまみを回してカッター刃を完全に引っ込めます。



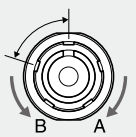
⚠注　意

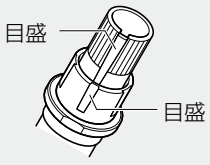
カッター刃の取り扱いには、手などを切らないよう十分にご注意ください。

刃先長さ調整つまみ

刃出しの長さを刃先長さ調整つまみを回して調整します。A の方向に回すと刃が出ます。B の方向に回すと刃が引っ込みます。一目盛り分回転させると約 0.1mm 刃が出入りします。一回転させると約 0.5mm 刃が出入りします。

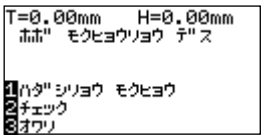
一目盛で、カッター刃が
約 0.1mm 出入りします





3 以下の手順でパネルを操作します。

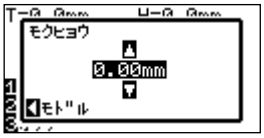
[ENTER] キーを押します。



刃出し調整設定画面が表示されます。

▼

[1] キー（ハダシリョウ　モクヒョウ）を押します。



刃出し目標画面が表示されます。

▼

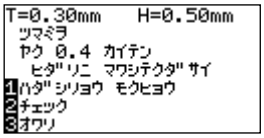
POSITION（▲▼）キーを押して、設定値を増減させます。

▼

POSITION（◀）キー（モドル）を押すと設定され刃出し調整設定画面に戻ります。

▼

[2]（チェック）キーを押します。



調整つまみを回す量と方向が表示されます。

⚠注　意

[1] キー（ハダシリョウモクヒョウ）を押すとツールキャリッジが動き出すので、カッター刃で指をケガしないよう十分にご注意ください。

⚠注　意

[2] キー（チェック）を押すとツールキャリッジが動き出すので、カッター刃で指をケガしないよう十分にご注意ください。

4 刃先調整つまみを回しカッター刃を調整します。

[2] キー（チェック）を押すと現在の刃出し量が表示されますので、メディアの厚さに合った値になるまで刃出し量を調整してください。

[3]（オワリ）キーを押します。

▼

[CONDITION] キーを押します。

ご相談窓口

問題が解決しないときは、以下の窓口にご相談ください。

グラフテック株式会社 カスタマーセンター

TEL: 0570-016262（ナビダイヤル）

＊ ただし、通話地域制限がある内線電話からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。また、携帯電話をご使用の場合、ナビダイヤルにつながらない事があります。その場合は、045-825-6382 におかけください。

FAX: 0120-710697

E-mail: graphcs@graphtec.co.jp

GRAPHTEC

621639961